

「はちのへ大型公共施設見える化シート」を活用した 公共施設の有効利用に向けた取組(青森県八戸市)

取組概要

公共施設マネジメントの取組を進めるに当たり、**市民と情報共有を図りながら進めることが重要**であると考え、公共施設の管理運営に要した費用や利用状況などに加え、地域の活性化等に向けた各施設の取組状況などの情報をわかりやすく伝える「はちのへ大型公共施設見える化シート」を作成した。

この「見える化シート」を活用し、**施設の更なる利用促進や利便性向上に向けた具体的な取組の参考とするための市民アンケート調査**を実施し、アンケート結果を踏まえ、**今後の取組の方向性について整理**したところであり、今後は、この方向性に基づき、公共施設への理解促進と有効利用に向けた取組を実施する。

取組の効果

- ①「見える化シート」を通し、各施設の取組状況について74%の方に理解をいただき、公共施設の**有効利用について考えるきっかけづくり**に寄与できた。
- ②市民ニーズを踏まえた取組への見直しにより、**既に利用者数が増えている施設**もあるなど、一定の効果があったものと考えられる。
- ③アンケート結果を踏まえた有効利用に向けた取組については、アンケート対象施設だけでなく、**他の施設にも波及**し始めた。

創意・工夫した点

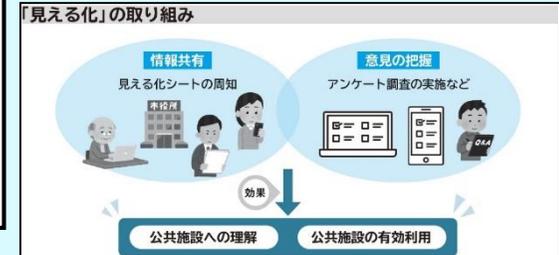
- ①施設運営費の用途に応じた分類
- ②施設運営費の市内事業者への波及効果として地元発注率を記載
- ③施設ごとに異なる役割に応じて生じる費用の特徴を記載
- ④各施設の独自の指標や観点による取組の状況の説明

他団体へのアドバイス

公共施設マネジメントは、長期的な視点をもって計画的に取り組む必要があるが、更新・統廃合・長寿命化などの対応策を検討するためには、まずは公共施設についての市民理解を促す必要があると考え、長期的な取組の入口として、この取組を実施した。

人口 218,182人(R5.12.31現在)

担当 行政管理課



はっち



マチノワ



美術館